

令和2年9月30日 資料提供	
担当課室	和歌山県健康推進課
担当者	松下、並川
電話(直通)	073-441-2657

株式会社紀陽銀行から、新型コロナウイルス感染症 検査関連機器の寄附をいただきます。



株式会社紀陽銀行から、新型コロナウイルス感染症対策に活用いただきたいとお気持ちから、当感染症検査関連機器等の寄附をいただくことになりました。
つきましては、次のとおり感謝状の贈呈式を行いますので、お知らせします。

寄附概要

【寄附機器等】（詳細別紙）

- | | |
|---------------------------|-----------------------|
| (1) 自動核酸抽出装置（検体前処理用） | 1 台 |
| (2) 超低温フリーザー（検体保存用） | 2 台 |
| (3) 2019 新型コロナウイルス検出試薬キット | 30 キット（1 キット 100 検体分） |

【寄附額】

11,257,400 円（税込み）

※寄附機器を金銭換算した額

感謝状贈呈式

〈日 時〉 令和2年10月5日（月）13:00～13:30

〈場 所〉 和歌山県庁本館3階 知事室

〈出席者〉 株式会社紀陽銀行	取締役頭取	松岡 靖之
	取締役上席執行役員	丸岡 範夫
	県庁支店支店長	丹生 安紀

和歌山県	和歌山県知事	仁坂 吉伸
	技監	野尻 孝子
	健康推進課長	楠石 由則
	和歌山県環境衛生研究センター所長	脇阪 達司

〈式次第〉 ①寄附目録の贈呈 ②感謝状の贈呈 ③記念撮影 ④歓談

(株) 紀陽銀行から寄附いただく 新型コロナウイルス感染症検査関連機器について

1. 新型コロナ検査における検体前処理装置（核酸抽出）

- 物品名 自動核酸抽出装置
- 機種名 magLEAD 12gC（プレジジョン・システム・サイエンス株式会社）
- 設置場所 環境衛生研究センター 西館1階 微生物グループ データ処理室
- 設置日 令和2年12月設置予定
- 効果等 新型コロナウイルスPCR検査に必要な前処理である自動核酸抽出を行う。
現在、環境衛生研究センターで3台所有。
更に1台を設置することにより、**1日あたりの最大検査数が108→144検体へ向上。**



2. 新型コロナ検査における検体保存用超低温フリーザー(-85℃) 西館2F用

- 物品名 超低温フリーザー 1台
- 機種名 MDF-394AT-PJ（PHC株式会社）
- 設置場所 環境衛生研究センター 西館2階
- 設置日 令和2年10月7日（水）設置予定
- 効果等 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による保管検体数の増加に対応



3. 新型コロナ検査における検体保存用超低温フリーザー(-85℃) 西館3F用

- 物品名 超低温フリーザー 1台
- 機種名 CLN-35C（日本フリーザー株式会社）
- 設置場所 環境衛生研究センター 西館3階
- 設置日 令和2年9月19日（土） **設置済**
- 効果等 西館2F用と同様



4 新型コロナウイルス検出試薬

- 物品名 2019新型コロナウイルス検出試薬キット
- 規格等 1キット（100検体分）（製造元：株式会社島津製作所）
- 寄附数量 30キット
- 効果等 新型コロナウイルス検出に使用